

「区・自治会における男女共同参画意識調査」の結果について

令和4年（2022年）9月1日

1 調査目的

須坂市では、第五次須坂市男女共同参画計画に基づき、性別により制約されることなく、男女が対等な立場であらゆる分野に参画し、責任を共に担う男女共同参画社会の実現を目指して取り組みを進めております。

この計画期間が令和4年度（2022年度）に満了することから、地域における男女共同参画について、各区・自治会の現状や意見を把握し、今後の事業や第六次須坂市男女共同参画計画に反映させることを目的に、意識調査を実施しました。

2 実施主体

社会共創部 人権同和・男女共同参画課

3 調査対象

市内69町の区長

4 調査期間

令和4年（2022年）4月22日～5月13日

5 調査内容

* この調査における「役員」とは、区によってとらえ方が違うため、「区・自治会の運営に関わる責任ある役職（理事）」としました。

◆区・自治会役員への女性の参画状況、選出について

(1)～(5)

◆区・自治会での工夫、取り組み、ご意見等について

(6)～(7)

* 具体的な事柄を記述する形式としました。

6 回答状況

69町（100%）

7 報告書内のデータ記述について

(1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入として算出した。

(2) 基数とすべき実数は、回答者数（n）とした。比率はこの基数を100%として算出した。

(3) 質問の選択肢から複数の回答を認めている場合、比率の合計は100%を超える。

(4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピュータ処理の都合上、省略している箇所がある。

区・自治会における男女共同参画意識調査結果（2022年5月）

回答状況 69町中 69町

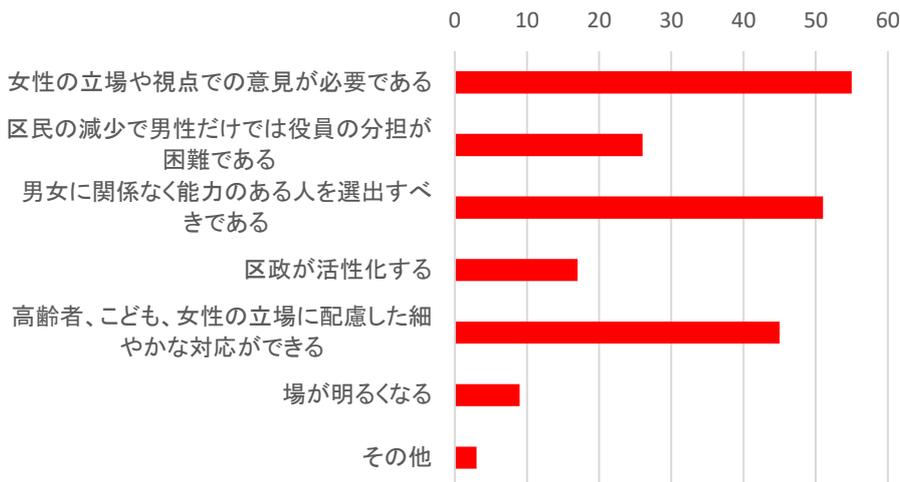
1. 区・自治会における女性役員について。

区分	2022年	2017年
いる	51町	38町
いない	18町	31町

2. 女性役員の割合

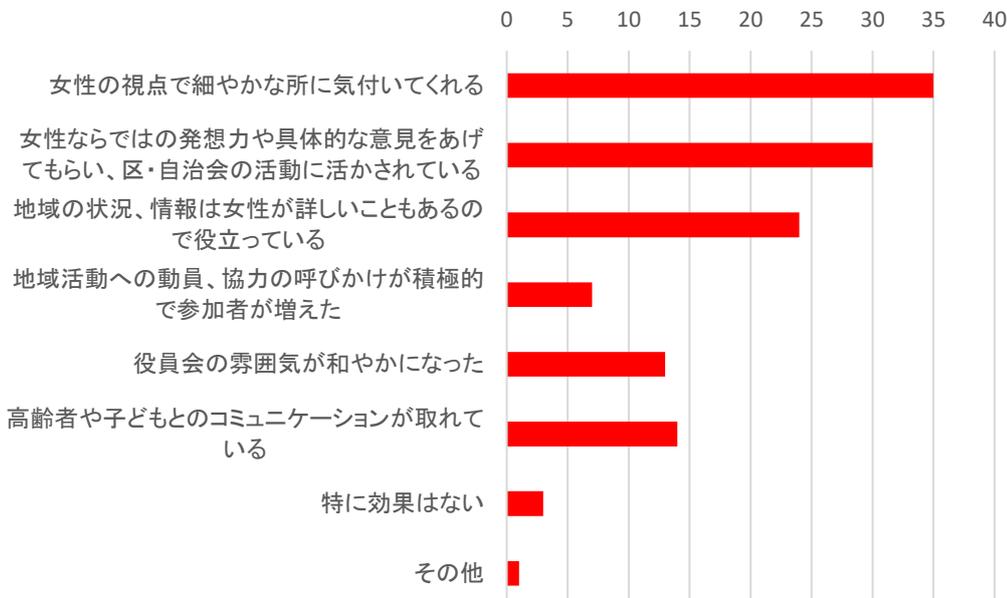
女性割合	2022年	2017年
	18.4%	13.2%

3. 役員に女性の参画が必要な理由について（複数回答）

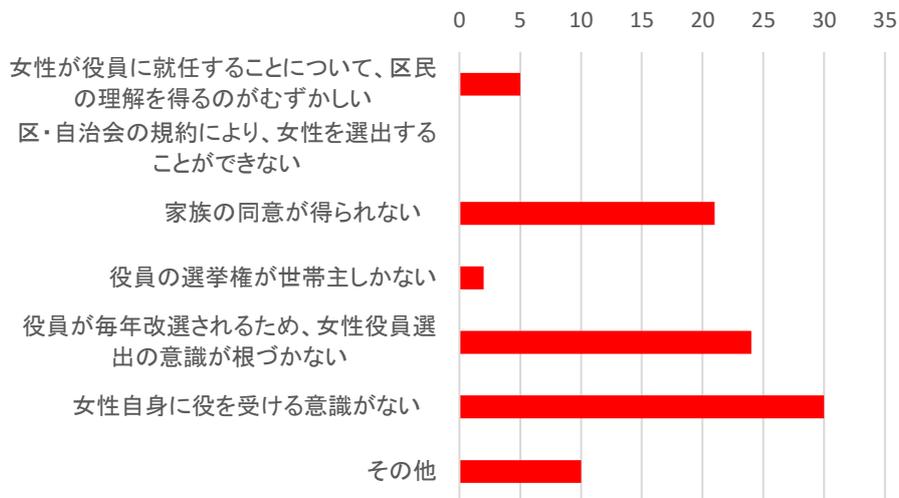


女性役員がいるメリットとして、女性としての立場や目線によるものの見方、地域の情報に詳しいこと、また、高齢者や子供など弱者の立場に配慮した細やかな対応など、女性としての力を十分発揮していることが挙げられています。また、区民の減少による成り手不足や、能力主義による区政への参画が求められています。

4. 女性役員がいて良かったこと（複数回答）



5. 女性を役員に選出することについて、支障になっていること（複数回答）



女性役員の選出するための支障としては、区民の理解や家族の同意が得られない、仕事や育児・介護等との両立や女性自身に役を受ける意思がないなどが挙げられており、啓発等による意識の改革が必要となっています。

6. 女性役員の選出にあたり、具体的に工夫されている点

- ・ブロック当番制で順番に男女を問わず選出するため、女性が出やすい。
- ・女性が役員になりやすい役職を考えている。
- ・開催予定時間を参加しやすいものに設定している。
（例：夕食後の時間(19:30)から短時間(遅くとも 21:00 終り)など
- ・酒席の回数を減らす（設けない）。
- ・可能な限り、短時間で終了できるように、進行している。
- ・会議出席の再案内を2週間程度前に配り、議する内容や今後の予定を記載している。

7. 意見・感想（順不同）

- ・親子で参加できる行事があれば、女性も出席しやすいと思います。
- ・どこでも、どんな場面でも、男女に関係なく共同参画が基本だと思います。
- ・高齢化により役員確保が難しいため、女性の積極的な参加は不可欠
- ・男女が共同してものごとに取り組むことはよいことですが、男女の人数を定めて無理にそれにはめ込もうとするのは形だけの目標達成であり、無意味どころか、かえって業務推進に支障を与えることになりかねないのではないかと考える。
- ・市が区長らに推薦を求める役割に、性別指定のものがあるが、その理由を尋ねても理解できる回答が得られないことがある。何となく均衡が取れていれば見た目よさそうだからという理由では真の共同参画にはならないと思う。意欲があり、職務を遂行できる能力があれば性別にかかわらず就くことができるように改めたらいかでしょうか。
- ・共同参画がうまくいっている地区の事例などを紹介いただき、他の町でも共有化できるような施策を展開していただきたい。
- ・男女共同参画社会の推進は大変重要なことと思います。前進していくようにしたい。そのために、一人ひとりの意識を高めていく必要があると思う。

- ・世帯主が男性という家庭が圧倒的に多いなかでは、男性が区役員に選出されるのは仕方ない気がします。
- ・世帯主が男性という家庭が圧倒的に多いなかでは、男性が区役員に選出されるのは仕方ない気がします。
- ・男女の差別はしないが、区別は必要と思います。
- ・多くの女性に参画して頂きたいが、女性は長になりたがらない人が多いことが残念です。
- ・男も女も別なく、やる気が有るかです。
- ・須坂市全体を見ても若手の参加者が減少し改善が見込めない中で、区の沢山ある役員選出が難しくなる中、総限界集落ならぬ対バランスを見ると、役員数を半減するか兼務化が必要
- ・社会全体も同様であるが、最初から女性ありきではなく結果として女性役員が選出されるのが重要
- ・須坂市を巣立った若者たちが、故郷に帰っても十分な収入が必ず得られる労働環境を実現できれば、若者が定着し、新しい伴侶を得て、家庭を持ち、子育てをする。衰退のない、元気な須坂市に男女共同参画の花が咲きます。須坂市からまず『非正規』を根絶してください。
- ・ほとんどが各班順番で役員を選出しているので、年度によっては女性が多い時もある。男とか女とか関係なく自治会への参画そのものが、意識低下となっていると思います。
- ・できれば女性区長を輩出したいと考えておりますが、なかなか女性の意識が高まりません。男女の差なく皆高齢になっても何らかの仕事を持っているので多忙な区長を始め、区の役員は敬遠されます。地域のコミュニケーションを保ち向上させていくには必要であります。掛け声だけに終わらせないためにも何らかの工夫が必要と感じます。
- ・最近、自治会活動に対して拒否的な住民が少しずつ増えており、男女共同参画以前の課題もある。